

広島市の下痢症患者由来サルモネラの血清型別 (2011 年)

生 物 科 学 部

は じ め に

広島市内で発生した下痢症の状況を把握するため、当所では、分離された菌株について疫学的な解析を続けている。

2011 年に分離されたサルモネラ菌株(チフス菌を除く)の血清型別および薬剤感受性試験の結果について、その概要を報告する。

方 法

1 材料

2011 年に分離されたサルモネラ 24 株を供試した。

2 血清型別

市販のサルモネラ診断用免疫血清(デンカ生研)を用い、常法に従い血清型別を行った。

3 薬剤感受性試験

薬剤感受性試験は Sensi-Disk (BD) を用いた 1 濃度ディスク法で測定し、ABPC, SM, CP, TC, NA, KM の 6 薬剤について CLSI 法により実施した。

結 果

表 1 年別サルモネラ分離状況

0 群	年別分離菌株数			
	2008	2009	2010	2011
04	8	2	6	5
07	12	0	3	7
08	3	1	1	4
09	6	4	7	8
016	0	0	1	0
計	29	7	18	24

過去 4 年間の分離株数を表 1 に示した。2008 年 29 株, 2009 年は 7 株と減少し, 2010 年は 18 株, 2011 年は 24 株と増加した。

2 血清型別検出状況

血清型別検出状況を表 2 に示した。分離された 24 株は 10 種類の血清型であった。*S. Enteritidis* が 8 株(33.3%)と最も多かった。

3 薬剤耐性

薬剤耐性パターンを表 3 に示した。SM, TC, ABPC の 3 剤耐性が 1 株, TC, CP の 2 剤耐性が 1 株, KM 単剤耐性株が 2 株, ABPC 単剤耐性株が 2 株, NA 単剤耐性株が 2 株認められた。3 剤耐性株は *Salmonella* sp. 2 剤耐性株は *S. Saintpaul*, KM, ABPC 単剤耐性株は *S. Infantis*, NA 単剤耐性株は *S. Hadar* で, 残り 16 株は感受性であった。

謝 辞

この調査にご協力いただきました保健所および医療機関の関係各位に対し、深謝いたします。

表 2 血清型別検出状況

血清型	分離菌株数
04 <i>S. Typhimurium</i>	3
<i>S. Saintpaul</i>	1
<i>Salmonella</i> sp.	1
07 <i>S. Infantis</i>	5
<i>S. Virchow</i>	1
<i>S. Braenderup</i>	1
08 <i>Salmonella</i> sp.	1
<i>S. Litchfield</i>	1
<i>S. Hadar</i>	2
09 <i>S. Enteritidis</i>	8
計	24

表 3 薬剤耐性パターン

耐性パターン	TC/CP	SM/TC/ABPC	KM	ABPC	NA	感受性	計
<i>S. Saintpaul</i>	1						1
<i>S. Infantis</i>			2	2		1	5
<i>S. Hadar</i>					2		2
その他		1				15	16
計	1	1	2	2	2	16	24